

海塩弘子さんの句集（六月）

○母の忌や 庭に舞いくる 梅雨の蝶

○青梅雨や 家中雨の におひして

○犬の毛の ふわりとぬけて 更衣

○点滴の 一粒一粒 梅雨曇り

○色も香も 残して牡丹 崩れけり

○店先に 新茶のしらせ 筆太に

○短夜や 猫の鼓動に 耳あてて



